

## アストロスケールが米国拠点を開設 ～追加調達によりグローバル展開の加速・マネジメント層の強化へ～

宇宙の安全航行の確保を目指し、スペースデブリ（宇宙ごみ）除去サービスに取り組む、株式会社アストロスケールホールディングス（本社：日本、創業者兼 CEO：岡田光信、以下「アストロスケール」）は、日本、シンガポール、英国に加え、本日米国拠点をコロラド州デンバーに開設したことを発表しました。また、シリーズ D の追加調達として、新たに約 30 百万米ドルの資金調達を行い、グローバル展開の加速とマネジメント層を強化します。今回の追加調達により、累計総額約 140 百万米ドルの資金調達を達成したことになります。

事業開発や技術発展の機能を担う、アストロスケール米国拠点のマネジングディレクターには、航空宇宙業界経験 25 年超のロナルド・ロペスが就任します。直近では、ハネウェル社アジア太平洋地域管轄 防衛・宇宙営業統括として、新規市場開拓や営業利益向上に多大な貢献を果たした他、アメリカ空軍やボーイング社など、政府機関および民間企業にて業務経験を重ねてきました。

アストロスケールの創業者兼 CEO 岡田光信は、次のように述べています。

「アストロスケールにとって、米国拠点の開設は、従業員や顧客にとっても多くの恩恵をもたらす、非常に重要なマイルストーンであると捉えています。米国はこれまで、宇宙交通管制（STM）や軌道上デブリの低減に積極的に取り組んできました。米国に拠点を構えることで、グローバル課題であるデブリ問題について、政策立案者や業界リーダーとの密なコミュニケーションが可能となり、持続的な解決策に向けて考察を深められると考えています。」

アストロスケール米国拠点マネジングディレクターのロナルド・ロペスは、次のように述べています。

「アストロスケール米国拠点は、宇宙産業が盛んなコロラド州で精力的に始動します。多様性に富み、進化を遂げるエコシステムの中に身を置くことで、当社のグローバル展開を加速させ、同地域の発展へと寄与したい考えです。」

グローバル経営陣は、その他、米国宇宙局（NASA）のワシントン D.C.本部や在日米国大使館 NASA アジア代表として、約 15 年に及び国際協力や戦略立案に携わってきた、最高執行責任者（COO）のクリス・ブラッカビーを筆頭に、複数年に亘りアストロスケールを支えてきた以下二名で構成されています。国際的なベンチャー企業で、長年会計・人事チームを率いた経験を持つ牧野 愛最高財務責任者兼最高総務責任者（CFAO）と、欧州の航空宇宙産業界のビジネスについて深い見識を持ち、同業界で長期に及びリーダーシップを発揮してきたジョン・アーバン最高営業責任者（CCO）です。経営層の各々が、技術やビジネス、政策、資金調達等の幅広い知見を持ち寄ることで、アストロスケールが更に成長し、長期で持続的な発展を遂げられるよう邁進していきます。

## アストロスケールシリーズ D 追加調達 引受先 (五十音順)

- 株式会社 INCJ
- 協創プラットフォーム開発 1 号投資事業有限責任組合  
(東京大学協創プラットフォーム開発株式会社)
- ジャパン・コインベスト 2 号投資事業有限責任組合  
(三井住友トラスト・インベストメント株式会社)
- スペース・エースタート 1 号投資事業有限責任組合  
(株式会社エースタート)
- 平尾 丈

## アストロスケールについて

アストロスケールは、宇宙機の安全航行の確保を目指し、次世代へ持続可能な軌道を継承する為、スペースデブリ (宇宙ゴミ) 除去サービスの開発に取り組む世界初の民間企業です。2013 年の創業以来、軌道上で増加し続けるデブリの低減・除去策として、宇宙機が故障や運用終了を迎えた際の除去 (EOL サービス) や、既存デブリ除去 (ADR サービス) の技術開発を進めてきました。本社・R&D 拠点の日本をはじめ、シンガポール、英国、米国とグローバルに事業を展開しています。

現在、デブリ除去の技術実証ミッションである、ELSA-d 「エルサディー」の 2020 年初頭打上げに向けて設計・開発に取り組んでいます。

詳細はこちら <http://astroscale.com>

---

### 【本件に対する報道関係者からのお問い合わせ先】

アストロスケール 広報

E メール : [media@astroscale.com](mailto:media@astroscale.com)

電話番号 :

(日本) 03-6658-8175

| 080-4148-4378 野口

(米国) +1-206-889-7384

| +81-90-9005-9533 アリソン・ハウレット

(英国) +44-1235-395359